

報告

令和4年度 事業計画

[本年度の目標]

本学会の公益目的事業の円滑な遂行を図るとともに社会との接点を広げ、学術研究の成果として得られる情報を学会内で学の立場から統合・整理・発展させ、かつ広く社会に発信していく活動を充実させるため、以下の各種事業を行う。また、長期化しているCOVID-19の水産業・水産学への影響に対する支援を行うとともに、SDGsに関連する活動を引き続き推進する。

1. 役員会・組織運営等に関する事項

(1) 総会

a) 定時社員総会は、定款第13条に基づき、令和4年5月10日に開催する。また、必要がある場合には臨時社員総会を開催する。

(2) 理事会

a) 通常理事会は、定款第29条及び理事会運営規程第2条2項に基づき、7回開催する。また、理事会運営規程第2条3項による臨時理事会は随時開催する。

(3) 支部

a) 北海道支部

支部総会を年1回（開催日未定）、支部幹事会を年1回（開催日未定）開催する。

b) 東北支部

支部総会を年1回（令和5年2月予定、於東北大学又はオンライン開催）、支部幹事会を年2回（第1回令和4年6月予定、オンライン開催、第2回令和5年2月予定、於東北大学又はオンライン開催）開催する。

c) 関東支部

支部幹事会を年1回（令和4年7月予定、於東京大学）開催する。

d) 中部支部

支部総会を年1回（開催日未定）、支部幹事会を年1回（開催日未定）開催する。

e) 近畿支部

支部幹事会を年2回（第1回令和4年12月予定、第2回令和5年1月予定）開催する。

f) 中国・四国支部

支部総会を年1回（開催日未定）、支部幹事会を年1回（開催日未定）開催する。

g) 九州支部

支部総会を年1回（令和5年1月予定、於宮崎大学又はオンライン開催）、支部幹事会を年2回（第1回令和4年7月予定、於宮崎大学、第2回令和5年1月予定、於宮崎大学）開催する。

(4) 委員会

a) 編集委員会

学会誌の編集方針、報文の原稿の書き方、印刷物の体裁、オンライン投稿と審査に関する手続き等及び論文賞候補の推薦に係る必要事項を審議するため、年4回定期的に開催するほか、必要に応じて随時開催する。

b) 企画広報委員会

和文誌に掲載する記事の企画を行うほか、和文誌の編集発行、学会ホームページの運営及び新たな事業の企画と広報に関する業務について審議するため、隔月1回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

c) 学会賞選考委員会

学会賞受賞候補者及び日本農学賞その他の受賞候補者について審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

d) シンポジウム企画委員会

シンポジウムとミニシンポジウムの題目及び企画責任者について審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

e) 出版委員会

学術図書の出版企画、出版社との契約事項等を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

f) 水産環境保全委員会

水産環境の保全に関連する諸事項について審議し、シンポジウム、講演会の企画・開催等に関連する業務を行うため、年

2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

g) 漁業懇話会委員会

懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

h) 水産利用懇話会委員会

懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年3回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

i) 水産増殖懇話会委員会

懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

j) 国際交流委員会

国際交流に関する諸事項を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

k) 選挙管理委員会

理事及び監事の候補者の選挙、学会賞選考委員の選挙ならびに役員欠員のための補欠の候補者の選挙に関する審議、業務を行うため、必要に応じて随時開催する。

l) 水産教育推進委員会

水産教育に係る事項について審議し、理事会の承認を得て行う事業を実施するため、年4回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

m) 水産技術誌監修委員会

水産分野の技術者、研究者、事業者等を対象として国立研究開発法人水産研究・教育機構が企画・編集し、定期的に刊行する和文誌「水産技術」について、編集の方針を提示し、編集の監督を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

n) 水産政策委員会

会長あるいは理事会の諮問に対応して各種の提言案を作成し、理事会に答申するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

o) 男女共同参画推進委員会

本学会における男女共同参画に関する諸事項を審議し、関連の業務を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

p) 水産学若手の会委員会

水産と水産学に係わる若手研究者や学生の研究・交流の促進に関する諸事項を審議し、関連の業務を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

[公益目的事業1]

研究発表会及び学術講演会・シンポジウムの開催ならびに研究業績の表彰による水産学の学術の発展と科学技術の振興を推進するため、以下の事業を行う。

2. 研究発表会及び学術講演会等の開催による水産学研究の推進事業（定款第4条1項1号に定める事業）

(1) 研究発表会

a) 春季大会：令和4年3月26日～3月29日

オンライン開催（日本大学湘南キャンパス）

大会委員長 小島隆人

研究発表 口頭、ポスター

高校生によるポスター発表

シンポジウム、ミニシンポジウム、講演会

令和3年度学会賞受賞者講演

b) 秋季大会：令和4年9月5日～9月7日

於フェニックス・シーガイア・リゾート

大会委員長 酒井正博

研究発表 口頭、ポスター

高校生によるポスター発表

シンポジウム、ミニシンポジウム、講演会

(2) 各支部が行う研究発表会及び講演会

a) 北海道支部

- ①支部大会の開催（研究発表，シンポジウム又は特別講演，令和4年12月予定）
- b) 東北支部
 - ①支部大会の開催（ミニシンポジウム，研究発表，令和4年10月予定，於水産研究・教育機構塩釜庁舎又はオンライン開催）
 - ②支部例会の開催（特別講演，令和5年2月予定，於東北大学又はオンライン開催）
- c) 中部支部
 - ①支部大会の開催（研究発表，開催日未定）
- d) 近畿支部
 - ①支部例会の開催（第1回令和4年9月上旬予定，第2回令和4年12月予定）
- e) 中国・四国支部
 - ①支部例会の開催（研究発表，シンポジウム，開催日未定）
- f) 九州支部
 - ①支部例会の開催（シンポジウム，令和4年8月又は10月予定，於宮崎大学又はオンライン開催）
 - ②支部大会の開催（研究発表，令和5年1月予定，於宮崎大学）
- (3) 各委員会が行う研究発表会及び講演会
 - a) 企画広報委員会
 - ①水産に関する勉強会の開催（開催日未定）
 - b) シンポジウム企画委員会
 - ①シンポジウムの開催
（令和4年3月26日，オンライン開催）
「水産物品質の非破壊計測技術」
企画責任者：岡崎恵美子，木宮 隆，鈴木敏之，今野久仁彦
（令和4年9月5日，於フェニックス・シーガイア・リゾート）
数件の開催を予定している。
 - ②ミニシンポジウムの開催
（令和4年3月29日，オンライン開催）
「フグ毒と麻痺性貝毒の産生と動態に関する研究の現状と展望」
企画責任者：長島裕二，荒川 修，山下まり
（令和4年9月5日，於フェニックス・シーガイア・リゾート）
数件の開催を予定している。
 - c) 水産環境保全委員会
 - ①シンポジウム「相次ぐ海の異変，ベントス・付着生物から探る解明の糸口」の開催（令和4年3月26日，オンライン開催）
 - ②研究会の開催（令和4年9月予定）
 - ③沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウムの開催（開催日未定）
 - d) 漁業懇話会委員会
 - ①第73回講演会「空と海のドローンの現状と調査例から漁業研究への応用を考える（仮）」の開催（令和4年3月26日，オンライン開催）
 - ②漁業懇話会報の発行
 - e) 水産利用懇話会委員会
 - ①令和4年度第1回講演会の開催（令和4年6月予定，於東京大学）
 - ②令和4年度第2回講演会の開催（令和4年11月予定，於東京大学）
 - f) 水産増殖懇話会委員会
 - ①令和4年度第1回講演会「国内の養殖業における魚病問題の現状と課題」の開催（令和4年3月26日，オンライン開催）
 - ②令和4年度第2回講演会の開催（令和4年9月予定，於宮崎大学又はオンライン開催）
 - g) 国際交流委員会
 - ①令和4年度公益社団法人日本水産学会春季大会におけるSDGsセッションへの協力
 - ②水産学若手の会の海外講演者招聘への協力
 - h) 水産政策委員会
 - ①新水産基本計画に関するシンポジウムの開催
 - ②随時シンポジウムの開催，共催等
 - i) 男女共同参画推進委員会

- ① 談話会（ランチョンセミナー）の開催
- j) 水産学若手の会委員会
 - ① 令和4年度春季大会シンポジウム「次世代へつなぐ水産研究の道程～企業・公設研究所・大学の最先端研究～」(令和4年3月26日, オンライン開催) 及びナイトポスターセッション(令和4年3月予定, オンライン開催)の開催
 - ② 令和4年度秋季大会シンポジウム及びナイトポスターセッションの開催(令和4年9月予定)
 - ③ セミナー合宿の開催(開催日未定)
 - ④ 学生・若手研究者の研究活動・キャリア形成活動を支援するオンラインイベントの開催
- k) その他

3. 関連学会等との連携及び協力ならびに社会連携の推進事業（定款第4条1項3号に定める事業）

- (1) 関連学会等との連携及び協力
 - a) 国際ワークショップ「Plastic pollution in Asian waters - From land to ocean」の共催
主催 日本水環境学会マイクロプラスチック研究委員会, 共催 日本環境化学会, 日本環境毒性学会
令和4年3月4日・5日, オンライン開催
 - b) 第29回海洋工学シンポジウムの協賛
主催 日本船舶海洋工学会, 日本海洋工学会, 協賛 海洋音響学会 他30団体
令和4年3月7日・8日, オンライン開催
 - c) 第59回アイソトープ・放射線研究発表会の後援
主催 日本アイソトープ協会, 協賛又は後援 応用物理学会 他64学協会
令和4年7月6日～8日, 於東京大学農学部キャンパス
 - d) その他, 関連学会等が主催する講演会等の共催, 協賛, 後援
- (2) 日本学術会議が行う事業への協力
- (3) (一社)日本農学会が行う事業への協力
- (4) (公財)農学会が行う事業への協力
 - a) 技術者教育推進委員会委員の派遣
- (5) (公社)日本技術士会 CPD (継続研鑽) 行事参加票の配布
- (6) 水産・海洋科学研究連絡協議会への参加及び委員の派遣
- (7) 海外との学術交流等
 - a) 令和4年度公益社団法人日本水産学会春季及び秋季大会へのアメリカ水産学会, イギリス諸島水産学会, 韓国水産科学会及び中国水産学会代表者の案内又は招聘
 - b) 第152回アメリカ水産学会大会(2022年8月予定, アメリカ・スポケーン)への代表者及び委員の派遣
 - c) イギリス諸島水産学会大会(2022年7月予定, イギリス・ノッティンガム及びオンライン開催)への代表者及び委員の派遣
 - d) 韓国水産科学会大会(2022年11月予定)への代表者及び委員の派遣
 - e) 中国水産学会大会(2022年11月予定)への代表者及び委員の派遣
 - f) 中国水産学会との学術雑誌の交換
 - g) アジア水産学会評議員会への評議員の派遣
 - h) 世界水産学協議会(WCFS)への代表者の派遣
 - i) 協力可能な水産専門家リストの更新等FAOとの連携
 - j) 年次総会の案内等PICESとの連携
 - k) JICA, 水産教育推進委員会との連携, 若手会員に対するインターンシップ, 海外水産関係大会の参加又は学術調査への協力等水産教育プログラムの推進
 - l) その他, 文献交換の斡旋, 外国人研究者との交流等海外との学術交流に関する事業
- (8) ベルソープックス刊行への協力
- (9) 水産技術誌の監修
 - a) 水産分野の技術者, 研究者, 事業者等を対象として国立研究開発法人水産研究・教育機構が企画・編集し, 定期的に刊行する和文誌「水産技術」を監修する。
- (10) 第41回「海とさかな」自由研究・作品コンクールへの協力
 - a) 小学生を対象とした, 朝日学生新聞社主催の海と魚をテーマとした作品コンクールにおいて, 募集ポスターやガイドブックの配付, 出張講義の講師派遣及び審査員派遣等の協力を行う。
- (11) 水産高校との連携

- a) 水産高校との連絡勉強会の開催
- (12) 水産政策に関連する情報収集及び発信
 - a) 漁業関連国際条約に関する情報収集
 - b) 国連海洋科学の10年に関する情報収集及び議論
- (13) 男女共同参画の推進
 - a) 男女共同参画学協会連絡会運営委員会への出席
 - b) 男女共同参画学協会連絡会主催シンポジウムへの出席及びポスターの展示
 - c) 東京海洋大学女性研究者支援機構との連携
- (14) 水産と水産学に係わる若手研究者や学生の研究・交流の促進
 - a) SNS 等による情報交換
- (15) その他

4. 研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業（定款第4条1項4号に定める事業）

- (1) 日本水産学会における賞の授与

学会賞授賞規程に基づき、以下の賞を授与する。

 - a) 日本水産学会賞
 - b) 日本水産学会功績賞
 - c) 水産学進歩賞
 - d) 水産学奨励賞
 - e) 水産学技術賞
- (2) 日本水産学会論文賞の授与

論文賞授賞規程に基づき、日本水産学会論文賞を授与する。
- (3) 各支部・委員会等における表彰
 - a) 北海道支部
 - ①最優秀講演賞
 - ②最優秀学生講演賞
 - b) 東北支部
 - ①東北支部長賞
 - c) 関東支部
 - ①春季大会高校生による研究発表会における表彰
 - d) 中部支部
 - ①支部長賞
 - ②最優秀発表賞
 - ③優秀発表賞
 - e) 近畿支部
 - ①優秀発表賞
 - f) 中国・四国支部
 - ①一般口頭発表優秀賞
 - ②高校生ポスター発表優秀賞
 - g) 九州支部
 - ①支部長賞
 - ②学生優秀発表賞
 - ③高校生による優秀研究発表賞
 - h) 漁業懇話会委員会
 - ①漁業懇話会奨励賞
 - i) その他
- (4) 「海とさかな」自由研究・作品コンクールにおける日本水産学会会長賞の授与
- (5) 他の学術関係の賞等に対する候補者の推薦

[公益目的事業2]

水産学に関する学会誌及び学術図書の刊行ならびにインターネットによる情報提供を通じて、水産学研究の科学技術成果の普及を行うため、以下の事業を行う。

5. 学会誌及び学術図書の刊行による水産学研究の普及事業（定款第4条1項2号に定める事業）

(1) 学会誌の刊行

- a) 日本水産学会誌第88巻2号～第89巻1号まで計6冊 [報文65編, 総説, 企画記事等総ページ約1,300ページ (各号330部刊行予定)]
- b) Fisheries Science 第88巻2号～第89巻1号まで計6冊 [報文85編, 総説等総ページ約1,200ページ (各号220部刊行予定)]

(2) e-水産学シリーズの刊行

(3) 英文書籍 Fisheries Science Series の刊行

(4) 日本水産学会誌のJ-STAGE上における公開